

令和3年度サーベイランススケジュール

家畜区分	対象疾病名	目的	実施方法			
			地域	期間	検査対象	方法
牛	伝達性海綿状脳症	定型:清浄性の確認 非定型:発生状況の監視	県下全域	年間	乳用牛、肉用牛(60頭)	ELISA
	ブルセラ症	清浄性の維持	県下全域	年間	乳用牛、肉用牛(20頭)	臨床検査、急速凝集反応、
	結核	清浄性の維持	県下全域	年間	乳用牛、肉用牛(10頭)	臨床検査、ツベルクリン
	ヨーネ病	感染牛の摘発、清浄性の確認、農場への侵入防止	横浜市(戸塚区、栄区、泉区及び瀬谷区の区域を除く区域に限る。)、川崎市、相模原市(緑区相原、大島、大山町、上九沢、下九沢、田名、西橋本、二本松、橋本、橋本台、東橋本及び元橋本町、中央区並びに南区の区域に限る。)、横須賀市、平塚市、鎌倉市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、厚木市、南足柄市、三浦郡葉山町、高座郡寒川町、中郡大磯町及び二宮町、足柄上郡中井町及び松田町並びに愛甲郡愛川町及び清川村の区域	年間	乳用牛、肉用牛(2930頭)	臨床検査、ELISA、リアルタイムPCR、細菌検査 (県域を2区域に分け、隔年でそれぞれの地域の検査を実施、発生農場:発生から1年間は4回/年以上、2年目以降は発生状況に応じて検査)
	アカバネ病	流行の予察	県下全域	6、8、9、11月	乳用牛、肉用牛(160頭)	臨床検査、中和試験
	牛伝染性リンパ腫	浸潤状況の把握、まん延防止	県下全域	年間	乳用牛、肉用牛(1600頭)	臨床検査、ELISA、血液検査
	牛伝染性鼻気管炎	感染牛摘発、清浄性の確認	県下全域	年間	乳用牛、肉用牛(10頭)	臨床検査、FA、中和試験
	サルモネラ症	浸潤状況の把握、まん延防止	県下全域	年間	乳用牛、肉用牛(20頭)	臨床検査、細菌検査
	牛ウイルス性下痢	浸潤状況の把握、まん延防止	県下全域	年間	乳用牛、肉用牛(450頭)	臨床検査、中和試験、抗原ELISA
	口蹄疫	早期発見、早期検査	県下全域	年間	乳用牛、肉用牛(10248頭)	臨床検査
豚、いのしし	豚熱	ワクチン接種による免疫付与状況の確認	県下全域	年間	検査:繁殖豚、子豚、肥育豚(5360頭) 野生いのしし(1000頭) 注射:繁殖豚、子豚、肥育豚(145000頭)	臨床検査、PCR、ELISA 法6条に基づく接種命令
	アフリカ豚熱	国内への侵入及び発生の予	県下全域	年間	繁殖豚、子豚、肥育豚(50頭) 野生いのしし(1000頭)	臨床検査、PCR
	口蹄疫	早期発見、早期検査	県下全域	年間	繁殖豚、子豚、肥育豚(69995頭)	臨床検査
豚	オーエスキー病	清浄性の維持、発生予防	県下全域	年間	繁殖豚、子豚、肥育豚(1440頭)	臨床検査、ELISA、ラテックス凝集反応
	豚丹毒	浸潤状況の把握、発生予防	県下全域	年間	繁殖豚、子豚、肥育豚(50頭)	臨床検査、生菌凝集
	豚流行性下痢	清浄性の維持・確認	県下全域	年間	繁殖豚、子豚、肥育豚(200頭)	臨床検査、中和試験、PCR
	豚繁殖・呼吸障害症候群	感染豚の摘発、抗体保有状況の把握	県下全域	年間	繁殖豚、子豚、肥育豚(1600頭)	臨床検査、ELISA、PCR
	サルモネラ症	浸潤状況の把握、まん延防止	県下全域	年間	繁殖豚、子豚、肥育豚(120頭)	臨床検査、細菌検査
鶏	ニューカッスル病	感染鶏群の摘発、抗体保有状況の把握	県下全域	年間	採卵鶏、肉用鶏(1360羽)	臨床検査、HI試験
	高病原性鳥インフルエンザ	発生予察	県下全域	年間	採卵鶏、肉用鶏(2250羽)	臨床検査、簡易検査、ゲル内沈降反応、ウイルス分離
	鳥マイコプラズマ症	感染鶏群の摘発、清浄性の確認	県下全域	年間	採卵鶏、肉用鶏(2500羽)	臨床検査、凝集反応
	家きんサルモネラ症	感染鶏群の摘発、清浄性の確認	県下全域	年間	採卵鶏、肉用鶏(100羽)	臨床検査、凝集反応
めん羊、山羊、鹿	伝達性海綿状脳症	感染めん羊・山羊の摘発、発生状況確認	県下全域	年間	めん羊、山羊、鹿(778頭)	臨床検査
	口蹄疫	早期発見、早期検査	県下全域	年間	めん羊、山羊、鹿(778頭)	臨床検査